

（寄稿）

## 「車いす目線から巡る七尾の旅」21

桶屋 善一

今年も猛暑の夏がやって来ました。パリオリンピックで金メダルの獲得の報道がされていますが、東北地方の山形では大雨で救助に行った2人の若い警察官がパトカーごと水没して亡くなりました。今年も予知が出来ない豪雨が各地で起こっています。

これから、私たち北陸地方に住むものも、元日の能登半島地震と併せて猛暑、大雨に注意して生活して行きたいと思います。

前は七尾線の電車内について書きましたが、今回は金沢駅のホームに到着したときのJR金沢駅のサービスについて書きます。

金沢駅のホームに到着すると、駅の介助員が2人来て手際よく、電車にスロープを設置して車いすの乗客を下ろして下さいます。これも北陸新幹線によって、サービス向上に向けて日頃から訓練等をされているのでしょう。電車から下りる様子は写真をご覧ください。



2人の介助員が来る



ケアスロープを準備する



ケアスロープを降りる



無事にホームに降車

北陸新幹線や北陸本線は、乗客数が多いので、エレベーター等の設備が整っております。しかし、七尾線は人口減少によって乗客数は少なく、バリアフリー化は難しいのです。高校生などの下校時間に金沢駅から七尾行きの電車に乗ると、津幡ぐらいまでは満員ですが、津幡・羽咋を過ぎるとガラガラ状態です。徳田、終点の七尾駅に近づくと数人しか乗っていません。このような状態では、能登地方の駅のバリアフリー化は難しいと思います。

～次号へ続く～